

総務厚生常任委員会

個性に合わせた教育の実現に向けて

6月9日に委員会が開催され、GIGA(ギガ)スクール構想について説明を受けた。

【背景・経緯】

国は、全国一律に学校ICT環境整備を喫緊の課題と位置づけ、一人一台端末及び高速通信ネットワークを一体的に整備することを柱としたGIGA(ギガ)スクール構想を打ち出した。新型コロナウイルスの影響もあり、構想を前倒しで進めるよう、緊急経済対策の対応に盛り込まれた。

質疑

教育ICT環境をどう実現するのか

委員 総予算は、先生にもタブレット一人一台か。

当局 予算は5500万円。先生の分は入っていない。

委員 何年かごとに新しいものに替えるのか。

当局 現段階で最新のものを、バッテリー駆動を加味しパッケージ化したものを使いたい。その後の更新は検討し対応したい。

委員 校内無線LAN整備とは。ネット接続環境は向上するのか。

当局 一教室40台使用でき、全児童生徒がアクセス可能な大容量通信ネットワークを目指す。

委員 ハード、ソフトの指導体制をどう進めるのか。

当局 ICT支援員も活用しながら、先生方の研修を丁寧に進めたい。オンライン研修システムも活用したい。



委員 児童生徒には貸与か。町は購入か。

委員 家庭のICT環境も違うが、購入か。リースかは検討する。

委員 ソフトを選ぶ際の基準は。先生方の校務の改善は。

当局 先生方と情報交換しながら決めていく。子どもたちとの連絡調整も可能になる。改善できるよう検討したい。

感染症への継続的な対策として

白鷹町感染症対策基金について説明を受けた。

【趣旨】

感染症対策は中長期的な視点に立った取り組みが必要である。特に子どもたちや医療現場、福祉施設への支援を継続して迅速に行うための財源及び町民からの寄附の受け皿として創設する基金。

質疑

どう基金を活用できるのか

委員 基金は毎年積み増しか。ふるさと応援基金のように対応するのか。

当局 当初は3千万円を予定し、活用のために取り崩した後は、財政状況をみながら積み増ししていきたい。ふるさと納税については、選択項目などを検討したい。



委員 基金活用する場合は申請するのか。現物給付か、現金給付か。

当局 健康管理や医療福祉など多岐にわたるので、基金から直接ではなく補助に充てる。補助するものは物にするのか現金にするのか、意見を伺いながら検討したい。

委員 民間からも募るのか。ピールは。

当局 まずは町の予算の中から。余剰金を原資に財政状況をみて対応したい。その後民間から。ただ、基金に積極的に募るといっても、受け皿としていきたい。

- その他
- 表彰時期等の見直し
 - 令和3年度白鷹町重要事業要望
 - 特別養護老人ホーム 白光園の状況等
 - 白鷹町郷土資料館整備事業
 - 町立病院の状況などについて説明があった。